



2019年5月16日

各 位

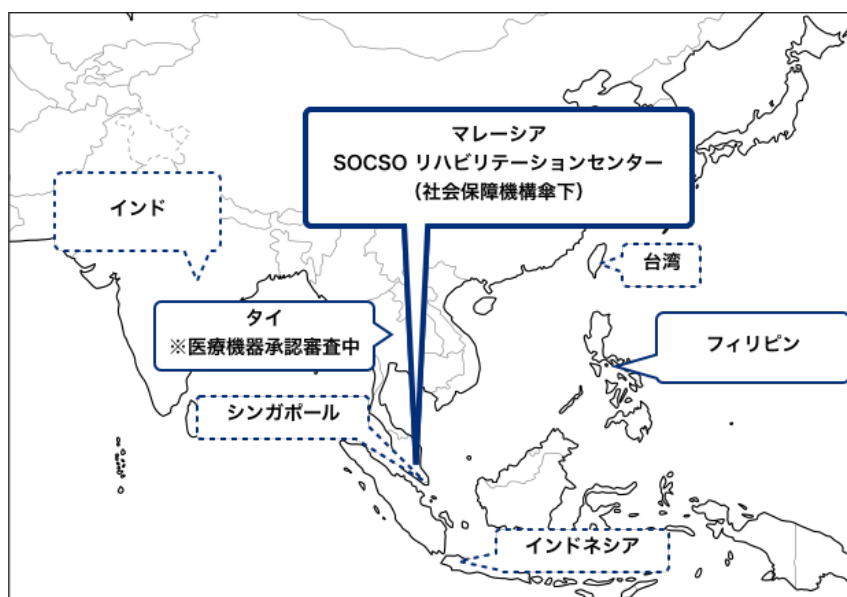
会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード番号 7779 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二
部 門 責 任 者
(電話 029-869-9981)

マレーシアにサイバニクス治療センター 「Neuro-Robotics Rehabilitation and Cybernics Center」を開設 ～ 東南アジアにおけるサイバニクス治療とその人材育成の中心的拠点として機能 ～

2018年10月16日のプレスリリースでお知らせした通り、同年11月にマレーシアの社会保障機構の傘下のSOCSOリハビリテーションセンターに、当社の革新的ロボット治療 HAL 医療用下肢タイプおよびその他の HAL (単関節タイプや腰タイプ) の導入されております。このSOCSOリハビリテーションセンターにおいて、2019年5月13日に、マレーシアのM・クラセガラン人的資源大臣を招待し「Neuro-Robotics Rehabilitation and Cybernics Center」の開設セレモニーが執り行われました。このNeuro-Robotics Rehabilitation and Cybernics Centerは、当社の東南アジアでの事業戦略において、サイバニクス治療とその人材育成の中心的拠点として機能してまいります。



(2019年5月13日 「Neuro-Robotics Rehabilitation and Cybernics Center」 開設セレモニーの様子)



(2019年5月時点 東南アジアにおけるHAL®の導入状況)

なお、現地メディアを通して、M・クラセガラン人的資源大臣の会見内容が報道されておりますので、以下、紹介いたします。



(リハビリを励む患者と会話するサイバーダインの山海CEO (右から3人目) とクラセガラン人的資源相 (右から1人目) =13日、マラッカ州 (NNA撮影)

(日本語)

1. 効率的なリハビリプログラムと技術の高い治療に早い段階で集中的に取り組むことは患者の機能回復にとって極めて重要だ。
2. 医療用HALについては 2018年11月の導入以来、現在 100人がリハビリに励んでいるが、(希望者が多く) 3カ月程の待機期間も生じている。
3. 現在、より多くの患者を受け入れられるよう診療時間の延長に向けて協議している。

(リンク)

The Daily NAA マレーシア版 (日本語)

<https://www.nna.jp/news/show/1901980>

2018年10月16日プレスリリース

https://www.cyberdyne.jp/wp_uploads/2018/10/181016_News_APAC.pdf

以 上